東吾妻町 議会だより

第66号
みんなの議会
2022.8.1

【特集】一般質問って何ですか？……9ページ

今号の内容

６月定例会で決まったこと……２
８議員が町政を問う一般質問 …10
各委員会からの活動報告……18
まちの声……20

温川から見上げたへそ岩

6月定例会で決まったこと

補正予算 アフターコロナに向けた経済対策

令和４年第２回定例会が、６月６日から 15 日までの 10 日間、役場庁舎３階の議会議場で開かれました。

会期中、町長から提案された人事案件や条例の改正、令和４年度の補正予算などの議案が審議されました（議案などの審議結果については、８ページの表をご覧ください）。なお、町政一般質問には８人の議員が登壇して町政をただしました（10 から 17 ページをご覧ください）。

令和４年度 一般会計補正予算

一般会計は、歳入歳出にそれぞれ２億９３２８万円を追加し、総額をそれぞれ85億７０２８万円としました。

注目事業

吾妻渓谷活性化対策事業　２３６万円
道の駅管理事業　１２００万円
桔梗館管理費　１０１６万円
忍びの町ひがしあがつま推進事業　７５０万円
緊急経済対策商品券支給事業　１億３２７１万円
非課税世帯臨時特別給付金事業　３１３８万円
子育て世帯生活支援特別給付金給付事業　６００万円
新型コロナウイルスワクチン接種事業　２４６１万円
商工業対策事業　２０００万円

コロナ対策と観光地の活性化の両立

◆温泉施設大広間等の畳を抗菌畳へ交換　天狗の湯・桔梗館

◆トイレ等の水道を非接触型自動水栓化　天狗の湯・桔梗館　温川・あづま森林公園キャンプ場　渓谷自然公園内観光トイレや街区公園などの公衆トイレ

◆八ッ場転回広場水道引込工事

コロナ対策で水道の非接触型自動水栓化

展示されている棒手裏剣

忍者で新たな観光資源づくり

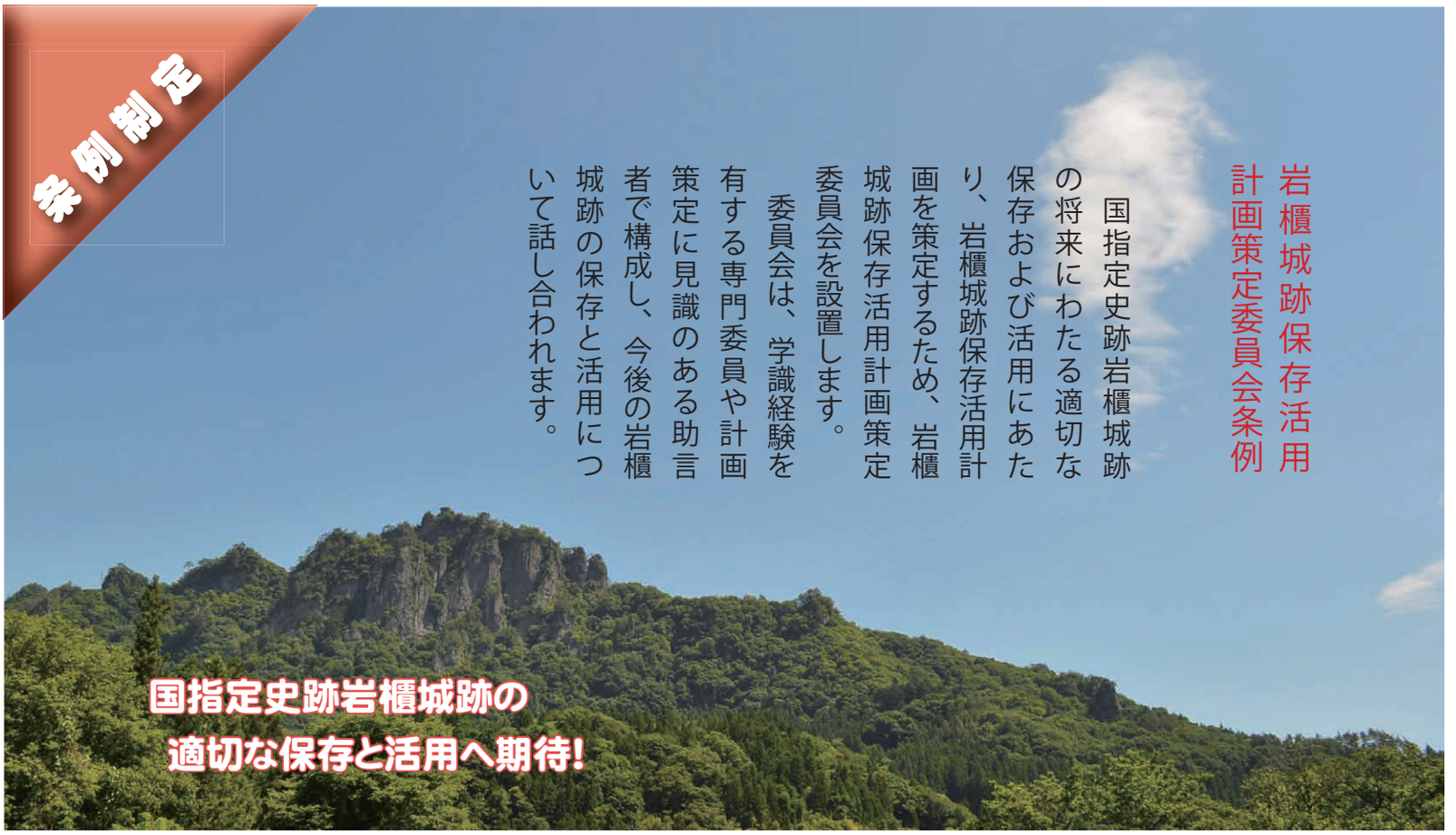
◆ NINJA エデュテインメント＊ツーリズム創出事業
＊教育とエンターテイメントの融合
分散型・体験型イベント、忍者教室など

◆体験型忍者コンテンツ造成事業
忍具・兵糧丸づくり、修行体験などと宿泊のセット・オプション商品化

令和４年度　補正予算一覧

会計名	補正額	予算総額
一般会計	2億9328万円	85億7028万円
国民健康保険特別会計（施設勘定）	12万円	7104万円
下水道事業特別会計	△75万円	5億5705万円
簡易水道特別会計	△204万円	1億3459万円

条例制定



岩櫃城跡保存活用計画策定委員会条例

国指定史跡岩櫃城跡の将来にわたる適切な保存および活用にあたり、岩櫃城跡保存活用計画を策定するため、岩櫃城跡保存活用計画策定委員会を設置します。

委員会は、学識経験を有する専門委員や計画策定に見識のある助言者で構成し、今後の岩櫃城跡の保存と活用について話し合われます。

国指定史跡岩櫃城跡の適切な保存と活用へ期待!

条例改正

放課後児童クラブの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

放課後児童クラブの開設時間が変更されました。

【平日】
放課後～午後6時
←
放課後～午後6時30分

【土曜日】
午前8時～午後6時
←
午前7時30分～午後6時

【長期休業日】
午前8時～午後6時
←
午前7時30分～午後6時30分

■その他、地方税法の一部を改正する法律が令和4年4月1日に施行されたことに伴う条例の一部改正の専決処分2件が承認され、ほか5件の条例改正が議決されました。

↓8ページの表をご覧ください。

人事案件

人権擁護委員候補者を推薦

人権擁護委員5名のうち1名が9月30日をもって任期満了になるため、前橋地方法務局長から後任候補の推薦依頼があり、桑原三七次さん（郷原）を推薦することが適任と認めました。

任期は令和7年9月30日までの3年間です。

監査委員の選任に同意

監査委員の任期満了に伴い、石村文明さん（三島）を選任することに同意しました。

任期は令和8年6月30日までの4年間です。

教育委員会委員の任命に同意

教育委員会委員の任期満了に伴い、富澤渉さん（新巻）を、教育委員に任命することに同意しました。

任期は令和8年6月20日までの4年間です。

上信自動車道建設対策調査特別委員会を設置

上信自動車道は町の形を大きく変える大事業であり、町と両輪と言われる議会において、議員全員で対策に取り組むべきと考え、上信自動車道建設対策調査特別委員会を設置しました。

上信自動車道の建設の進捗を把握し、町民に報告できるよう努めていきます。

◆名　　称
上信自動車道建設対策調査特別委員会
◆付託調査事項
上信自動車道建設に関すること
◆委員の定数
13人（議長を除く、全議員）
委員長：樹下啓示　副委員長：里見武男
◆調査期間
議会の閉会中も調査を行うことができ、議会が本件調査終了を議決するまで継続して調査を行う

建設工事が進む岩島地区

反対討論

佐藤議員　解散した八ッ場ダム及び地域開発特別委員会の中で調査研究をしていた上信自動車道建設関係の調査については県事業であり、調査研究は県議会で行われているので、町村議会への対応は難しいとのことだった。現在は、総務建設常任委員会の中で意見交換という形式で、調査研究を進めている。

常任委員会で調査を進めていることを踏まえ、今まで通りの形式で行うのがよいと考える。よって、当委員会設置には反対する。

賛成討論

井上議員　特別委員会設置は、その権限を議会運営委員会に与えられており、議会運営委員会の協議結果は尊重すべきと考える。よって、当委員会設置に賛成する。

その他

工事請負契約の締結
旧岩島第一小学校校舎の解体工事。
●契約金額…5060万円
●契約相手…池原工業株式会社　代表取締役　池原　純（原町）

物品購入契約の締結
消防小型ポンプ付積載車（第4分団第2部）の購入。
●契約金額…1628万円
●契約相手…株式会社佐藤工業所　代表取締役　伊藤　英明（前橋市）

町選挙管理委員会委員および補充員の選挙
選挙管理委員会の委員（4人）と補充員（4人）が任期満了となるため、議長による指名推選の方法で選挙が行われ、次の通り決定しました。

任期は6月8日から令和8年6月7日までの4年間です。

●委員
佐藤　弘さん(五町田)
剣持伊佐男さん(岩　井)
町田　博史さん(原　町)
黒岩　進さん(大　戸)

●補充員（補充順序順）
片貝　徳行さん(矢　倉)
浅見　美彦さん(奥　田)
荒木　博之さん(岩　井)
髙橋　春彦さん(原　町)

群馬原町駅南側地区まちづくり計画策定業務は、令和3年5月に開催予定の住民ワークショップが、新型コロナウィルス感染拡大で延期になったことにより、令和3年度中の策定が完了せず、事故繰越となったことが報告されました。

令和3年度繰越明許費繰越計算書の報告

年度内で使い終わらない見込みの支出について、翌年度に限り繰越して使用することができます。3月議会で議決された繰越明許費について、新年度になり改めて報告されました。

令和４年度に繰り越すことが決まった事業

事　　業　　名	繰越額
上信自動車道吾妻西バイパス光ケーブル等移設工事	220万円
定住促進事業住宅取得奨励補助金交付事業	1120万円
吾妻渓谷活性化対策事業	37万円
住民基本台帳システム改修業務委託料	330万円
非課税世帯臨時特別給付金事業	4571万円
子ども･子育て支援事業	376万円
太陽光発電システム設置費補助金事業	93万円
農業振興対策事業	560万円
地域農業基盤確立農業構造改善事業	540万円
農村地域防災減災事業	800万円
東吾妻町住宅新築改修等補助金	146万円
東吾妻町小規模事業者持続化補助金	300万円
東吾妻町雇用調整助成金申請費補助金	300万円
観光管理費	500万円
道路改良事業（町道新井・横谷・松谷線）	1000万円
道路改良事業（町道８０５４号線（箱島））	1330万円
大規模盛土造成地第二次スクリーニング調査事業	3003万円
ケーブルテレビ設備維持管理事業	131万円
群馬原町駅南側地区まちづくり計画策定業務	699万円

（一万円未満切り捨て）

群馬県総合表彰を受賞

５月３日、須崎幸一議長が令和４年度群馬県総合表彰を受賞しました。この表彰は、多年にわたり公共福祉のために献身的に尽力した方が表彰されるもので、須崎議長は旧東村（平成15年）から現在まで議員として地域自治に貢献し、町の監査委員や議長を務めるなどの功績が認められたものです。

今回の陳情

陳情	趣旨採択	国民の祝日「海の日」を７月20日に固定化する意見書の提出を求める陳情	海事振興連盟 会長　衛藤征士郎	総務建設常任委員会
陳情	趣旨採択	沖縄を「捨て石」にしない安全保障政策を求める意見書の提出を求める陳情	辺野古を止める！全国基地引き取り緊急連絡会 代表　大庭和雄	総務建設常任委員会
陳情	不採択	後期高齢者の医療費窓口負担２割化実施の凍結についての陳情	全日本年金者組合群馬県本部 執行委員長　平田仁	文教厚生常任委員会

請願・陳情についての報告

議会では、皆さんから提出された請願・陳情を慎重に審査しています。採択した中で、町執行部へ送るべきものは速やかに送付し、要望の実現が図られるよう議会の意志を伝えています。これに対し、町は必ず実行する義務はありませんが、処理経過を報告することが義務づけられており、６月議会に報告がありました。

処理中

NO.19　日向地区の町道並びに上本丸橋改修に関する陳情

本宿・日向線は令和２年度から舗装工事実施（令和４年度完了予定）、上本丸橋は平成30年度床版防水対策工事を実施したとの報告がありました。

処理中

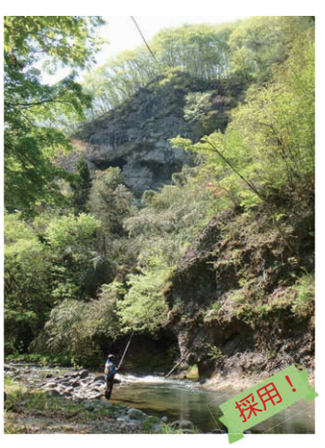
NO.22　河川からの越水被害に関する陳情

令和４年度から調査測量設計に着手、同エリア内の上之宮区要望と併せて、令和５年度から工事実施予定との報告がありました。

表紙の写真を募集します！

今回の表紙を飾った写真は、ＮＴさん（原町）の撮影です。

釣り中に温川から見上げたへそ岩の大きさに思わずスマートフォンで撮影。涼しげな清流と、やわらかな緑が爽やかな初夏の風景です。



引き続き、「議会だより」の表紙に掲載する町の「風景」や「行事」などの写真を募集しています。

詳しくは、東吾妻町議会ホームページをご覧ください。

次回 11 月発行
締切は、
９月 26 日です。

ふぉとぎゃらり～

スポーツフェスティバルに参加

クライミングに初挑戦！

盛夏に涼を求めて

あの請願・陳情はどうなったか？

No.	請願・陳情件名	採択議会	担当課	処理状況
1	町道３００５号線（本宿上の原）舗装工事のお願い	平成２１年６月採択	農林課	処理中
2	町道程岩・堂ヶ沢線改修工事を求める陳情	平成２２年１２月採択	建設課	処理中
3	陳情書 町道鳩の湯線の拡幅改良について	平成２３年６月採択	建設課	完結
4	「農山漁村活性化プロジェクト支援交付金（農林水産省）」事業等導入促進に関する請願書	平成２５年３月採択	まちづくり推進課	処理中
5	地元小規模零細商業者への東吾妻町公共施設の発注拡大に関する陳情	平成２５年９月採択	まちづくり推進課	処理中
6	陳情書 （坂上地区にガソリンスタンドを確保するため、事業者の確保と支援を）	平成２５年１２月採択	企画課	処理中
7	陳情書 町道新井・横谷・松谷線（厚田～三島間）の拡幅改良工事	平成２６年３月採択	建設課	処理中
8	陳情書 公衆用道路の拡幅改良について（大戸上宿区長）	平成２６年６月採択	建設課	未決
9	陳情書 町道５２６７号線の道路改良拡幅工事（辻区長）	平成２６年９月採択	建設課	未決
10	萩生地区活性化拠点 観光案内看板・休憩所設置に関する陳情（萩生地区活性化推進委員会）	平成２６年１２月採択	まちづくり推進課	処理中
11	十二ヶ原第二畜産団地の排水について【請願】（植栗区長）	平成２７年３月採択	農林課	未決
12	町道長寿園線の改良工事に関する陳情書（関谷区長）	平成２７年３月採択	建設課	完結
13	橋梁の架け替えと町道拡幅に関する陳情（岩下漆貝戸）	平成２７年９月採択	建設課	未決
14	東吾妻町弓道場の新設に関する陳情書	平成２７年９月採択	社会教育課	未決
15	安心して住み続けられる坂上地区づくりに関する陳情（トイレ・ＧＳ・直売所）	平成２７年１２月採択	まちづくり推進課	未決
16	町道５０８５号線（原町上野在下）拡幅改良工事に関する陳情書	平成２７年１２月採択	建設課	処理中
17	上信自動車道の開通に伴う発展政策提言の陳情書	平成２７年１２月採択	建設課	未決
18	町道新井・横谷・松谷線拡幅のお願い	平成２８年９月採択	建設課	未決
19	日向地区の町道並びに上本丸橋改修に関する陳情	令和元年９月採択	建設課	処理中
20	東吾妻町立小学校におけるフッ化物洗口実施に関する陳情	令和元年９月採択	学校教育課	未決
21	町道５２４２号線（郷原古谷）改良の請願	令和２年６月採択	建設課	処理中
22	河川からの越水被害に関する陳情	令和２年１２月採択	建設課	処理中

未決・・・どのような方法で行うか決定されていない　　処理中・・・着手し進行中

議案などの審議結果

第２回　定例会（令和４年６月６日～１５日）

議案名＼議員名	出席者数	賛成	反対	議決結果	1 須崎幸一	2 渡一美	3 井上日出来	4 高橋弘	5 茂木健司	6 髙橋徳樹	7 里見武男	8 小林光一	9 重野能之	10 竹渕博行	11 佐藤聡一	12 根津光儀	13 樹下啓示	14 青柳はるみ	議決日
専決処分の承認（東吾妻町税条例の一部を改正する条例）	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/6
専決処分の承認（東吾妻町国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/6
人権擁護委員候補者の推薦	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/6
東吾妻町監査委員の選任	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/6
東吾妻町教育委員会委員の任命	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/6
東吾妻町国民健康保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/14
東吾妻町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/14
東吾妻町地方活力向上地域における固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/14
東吾妻町過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/14
東吾妻町放課後児童クラブの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/14
岩櫃城跡保存活用計画策定委員会条例	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/14
東吾妻町特別職の職員で非常勤のもの及び各種委員会の委員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/14
令和４年度東吾妻町一般会計補正予算（第１号）	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/14
令和４年度東吾妻町国民健康保険特別会計補正予算（第１号）	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/14
令和４年度東吾妻町下水道事業特別会計補正予算（第１号）	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/14
令和４年度東吾妻町簡易水道特別会計補正予算（第１号）	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/14
工事請負契約の締結	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/14
物品購入契約の締結	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/14
国民の祝日「海の日」を７月20日に固定化する意見書の提出を求める陳情 ＊委員会の趣旨採択に対し	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/14
沖縄を「捨て石」にしない安全保障政策を求める意見書の提出を求める陳情 ＊委員会の趣旨採択に対し	14	13	0	可	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	6/14
後期高齢者の医療費窓口負担２割化実施の凍結についての陳情	14	0	13	否	-	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	6/14
上信自動車道建設対策調査特別委員会設置に関する決議	14	11	2	可	-	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	6/14

可…可決、否…否決、○…賛成、×…反対、欠…欠席、／…退席　　議長（１番）は採決に加わらないため「 - 」で表示

請願・陳情のしかた

◎請願・陳情とは

町政に対する皆さんの意見や要望を「請願」「陳情」として受け付けています。

東吾妻町議会議員の紹介があるものを請願といい、紹介のないものを陳情といいます。

◎請願・陳情の書き方と提出方法

・受付締切日

定例会前に開かれる議会運営委員会の前日（土・日・祝日の場合は、その前日の午後５時15分まで）

・必要記載事項

請願（陳情）の表題、請願（陳情）の趣旨、理由、提出年月日、請願（陳情）者の郵便番号、住所、電話番号、署名（または記名押印）

なお、請願の場合は、紹介議員の署名（または記名押印）、あて先（東吾妻町議会議長）

・提出先…議会事務局（議長宛）

・その他…邦文で記載してください。

特集 第3弾!!

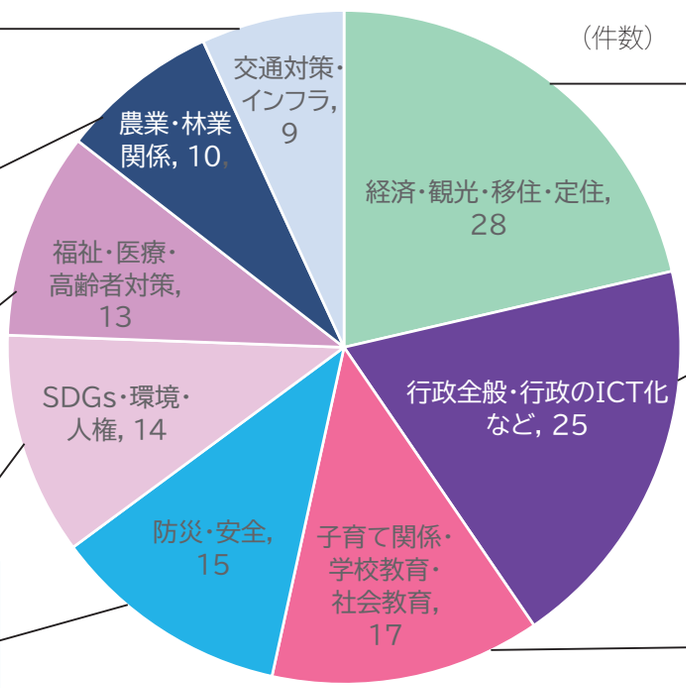
一般質問って何ですか？

一般質問とは、定例会本会議で行う、最もはなやかで意義のある発言の場であり、住民からも重大な関心をもたれる大事な議員活動の場です。

質疑は、議案などに対して、議員が疑問点を問いただすことです。

それに対して**一般質問**は、議員が町政全般に関して、自身の提言を交えながら、行政側に現状や見通しを聞くことができます。

過去3年間の一般質問のテーマ・内容



- 経済・観光・移住・定住：コロナ禍で影響を受けた中小事業者に対する支援やダム完成後の観光施策、移住・定住施策などの質問や提言がありました。
- 行政全般・行政のICT化など：中澤町政全般に対する質問や、新しい生活様式での行政のあり方、ＩＣＴを取り入れた行政などへの質問や提言がありました。
- 子育て関係・学校教育・社会教育：学童や登下校の問題、コロナ禍での子どもたちのケアやギガスクール導入、文化財保護に対する質問などがありました。
- 防災・安全：台風19号の被害関連や、その後の防災に関する質問が多く見られました。
- SDGs・環境・人権：ＳＤＧｓの取組やゴミ・環境対策、エネルギーの地産地消など。
- 福祉・医療・高齢者対策：コロナのワクチン接種状況や地域医療、高齢者買い物支援など。
- 農業・林業関係：鳥インフルやCSF対策、森林の活用など農林業関連など。
- 交通対策・インフラ：上信道完成に向けての質問やデマンドバス関連の質問など。

重要なテーマは継続して質問

コロナ禍の経済対策、観光、移住・定住、高齢化、環境問題、交通対策など、これらの重要案件は、すぐに解決するものばかりではありません。社会情勢の変化に合わせ、現状の確認や新たな提言などを行うため、同じテーマで継続して質問し、達成度を確認していくこともあります。

次のページから
今定例会の
一般質問です。

町政に活かされた一般質問

＊「補助金制度を年表形式でとりまとめ、人生で訪れる出来事と補助金を受けるタイミングを見える化してはどうか」（令和元年12月定例会）

→「東吾妻町生涯支援年表」として、令和２年度に実現。令和３年度も改訂版が出され、出生・転入時に配布されています。子育て世代からの評判も良く、近隣自治体の議会でも取り上げられました。

＊「全国約２６９自治体で人権宣言・条例が制定させている中、人権に関する町の考えは」（令和３年６月定例会）

→令和３年12月定例会にて「人権尊重の町」宣言の提案がなされ、本会議で可決されました。

8 議員が町政を問う

一般質問

このコーナーでの質疑応答は編集してあります。本会議中の正確なやり取りについては、町ホームページの会議録（9月中に掲載予定）をご覧ください。

Q 地域おこし協力隊が活躍できる町に

A さまざまな活動領域が待っている

根津光儀（ねづみつぎ）議員

地域の宝を発掘する活動に期待

Q 農林課に配置されている鳥獣害対策を中心的任務とする隊員は現在1名であるが、生息・生態調査を行いその成果を猟友会や地域と共有し駆除対策に活かしていくことが理想であり、そのためには複数人とすべきではないか。

A 隊員により野生動物調査を行い、「有害獣出没箇所のマップ」や「対応マニュアル」などを作成し猟友会や地域の会議で被害対策指導に活かしていきたい。隊員の任期は3年なので3年目には次の隊員を配置し、成果の引き継ぎが充分に行えるようにしていきたい。

Q 吾妻峡レールバイク、アガッタンの立ち上げには隊員の活躍が大きかったと評価する。この施設の今後の運営および町の観光振興に隊員の力をどう活かしていくか。

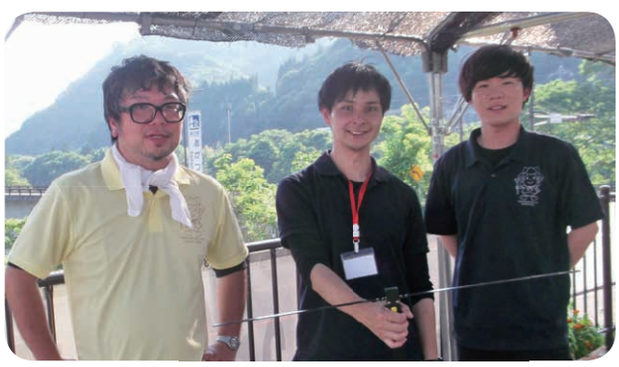
A 4月から自転車型トロッコ事業に新隊員を配置した。任期を終了した元隊員を新たに「地域プロジェクトマネージャー」として任用し、同事業のほか八ッ場ダム下流地域全体の振興施策のリーダーとして活躍してもらう。自転車型トロッコ事業は今後2年間で経営を安定化させ指定管理を目指す。

Q 地域の伝承や営みなどが姿を消しつつある。地域に眠っているトリビア（取るに足らぬもの）も目覚めさせればトレジャー（宝物）になる。民俗学的見地からこれらを調査研究することは急務であり、協力隊の活用を提案する。

A 研究職など専門的な業務において、協力隊の活用は考えていない。農林水産業や商工業、デジタル技術の普及活動などを期待している。

Q 隊員の資質向上のための研修、実務的な資格への挑戦や情報交換の場を作っていくことなど、「この町に来て良かった」「スキルが向上した」と隊員が思えるような支援を求める。

A 国や県で行う研修などに参加できるよう取り組んでおり、隊員同士の意識の高揚が図られ活動に活かされることを期待している。

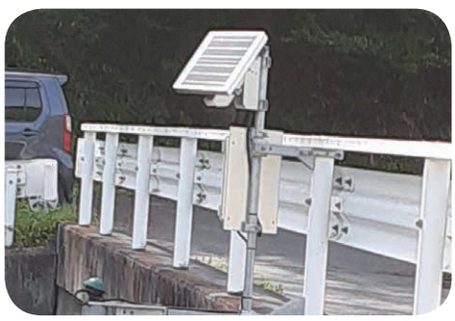


町で活躍する協力隊員

一般質問

Q 町内12カ所で設置されている水位計を活用して防災を

A スマホで水位計からの情報を見られることを広報していく



深沢川橋の水位計

青柳（あおやぎ）はるみ議員

Q 台風19号で温川や泉沢川で大きく護岸がはがれ、住民は恐怖だったと聞く。九州北部豪雨では大きな河川しか水位計がなく、中小河川の氾濫で避難が遅れ家が流されるなど被害が大きかった。これがきっかけで全国9000カ所のうち、当町は新しく8カ所水位計が設置された。これを活用してもらいたい。

A 水位計から川の様子がスマホで見られることを広報し、現在作成中のハザードマップへの掲載も検討したい。

我が町のデジタル社会の実現のために

Q SNSを活用した道路の不具合や倒木等の情報は職員間ではスピーディに活用されている。これを住民も活用して協働の町づくりをと思うが進まないのはなぜか。

A 技術面や費用面での課題がある。情報サービスアプリとも連携し、導入可能であるか検討していく。

犯罪被害者支援を

Q 犯罪被害者支援は経済的支援・被害者の心に寄り添う支援とも各自治体にゆだねられている。支援を町で行う仕組みを作るべきでは。

A 被害者に寄り添い人権相談や法律相談のほか、県や警察などとも連携していく。

帯状疱疹ワクチン接種補助を

Q 帯状疱疹は長期間痛みの症状が続くため住民の関心は高い。自己負担3000円で接種できる自治体が郡内にもある。罹患者が増えていることから、町独自で接種補助を考えるべきでは。

A 国保診療所だよりで紹介したところ、9人の方が帯状疱疹ワクチン接種をしたと聞く。コロナワクチン接種を優先しつつ、国の動向を注視しながら検討する。

リトルベビー対応の母子手帳を

Q 母子手帳には1000グラム以下の赤ちゃんの体重を記入するグラフがなく、早産などで小さな赤ちゃんを産んだお母さんが二重につらい思いをしたと聞いた。町で低体重児対応の母子手帳を準備してほしい。

A 現母子手帳に加え、低体重児対応の記入できるものを作成していく。

小さく産まれたベビー用の母子手帳

一般質問

Q 政策立案にビッグデータや政府統計データの活用を

A 調査研究を深め、できるものは活用していきたい

町公営事業の計画手法は

Q 事業計画の初期段階で収益性や波及効果などどんな手法を用いて想定し、計画に織り込んでいるか。

A 町が行う公営事業は公共の福祉を第一と考え、採算性などは優先しなかった。民間参入が困難な部分を行政が担うものと考えている。

Q 町の過去の公営事業では多いときで年間約1億円もの莫大な財政負担が出た。再発を防ぐための取り組みは。

A 住民福祉はもとよりマーケティングなども含め検討を進める。

バスタ東吾妻（仮）の候補地選定

Q バスタ東吾妻（仮）植栗IC選定はどのようになされたか。またその根拠について説明を求める。

A 当町だけでなく中之条町、高山村の3町村にとってベストの場所であると判断した。

Q 全町的な賛同を得るために、事前に町民への意見聴取を実施すべきでは。

A パーク&ライド方式とすることで町内全域から使いやすい施設になると見込んでいる。

旧庁舎跡地計画の発注方法は

Q プラン内容や物理的制約等、発注に際しどのような諸条件を東洋大学に提示したか。

A 計画の範囲、期間、上位計画との整合性、および住民の意向の確認などである。

Q 該当地域でまだ計画内容を知らないという住民が存在する。意見交換会など忌憚のない住民意見を聴取すべきではないか。

A 計画の進捗に応じて住民の意見も伺うことになろうかと思う。

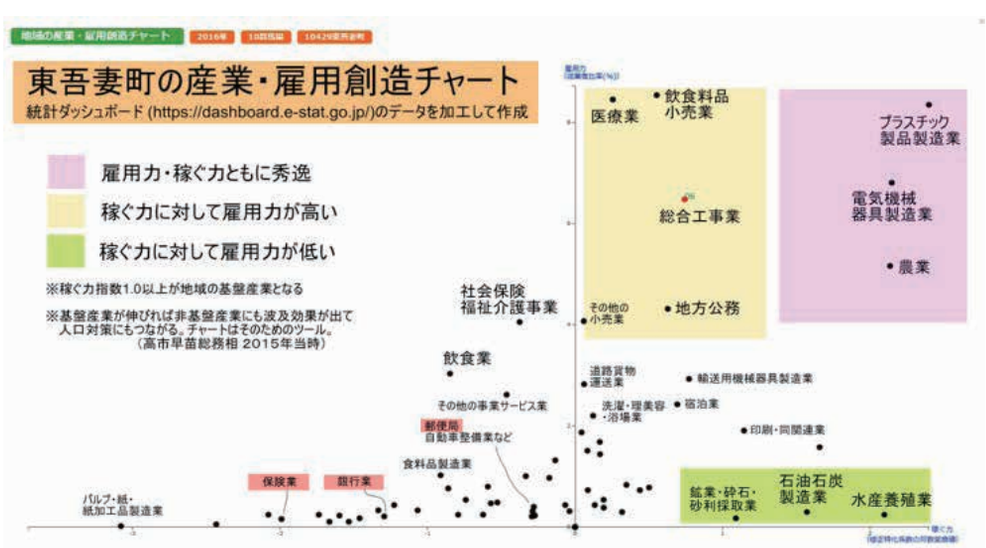
公営事業の成功確率を上げる手法の導入を

Q 町の新規事業の成功確率を上げる方策について町長はどのように考えているか。

A 十分な事前調査や交付金の有無、またランニングコストも含む運用計画の将来性、波及効果など検討する必要があると考えている。

Q 事業の成功確率を上げる手法としてビッグデータや政府統計「e-Stat」などがあり他の自治体ではすでに活用されている。当町でも活用すべきと思うが。

A 今後、調査研究を深め、取捨選択の判断も含めて進めていきたい。



資料作成：井上日出来

井上日出来（いのうえひでき）議員

一般質問

Q 森林環境譲与税の使い方について町長の見解は

A 森林整備および町内林業の活性化を図れるよう取り組む

竹渕博行（たけぶちひろゆき）議員

Q この法律は、令和元年度より施行され、令和6年度より賦課徴収を市町村が行うことで納税所得者からは、個人住民税均等割を引き上げ国税分（年額1000円）をご負担いただく。山林所有の有無に関わらず賦課徴収する法律であり、町民の関心が高まりつつある。

森林環境譲与税が何を目的に始められどんな用途で使用されているのか、そして町の将来にどの様な影響が及ぶと見込まれているのか、まずは町長としての見解は。

A 森林の整備、人材育成、普及啓発、木材利用促進など、法律に基づいた施策を行う。

人工林伐採予定の山林

Q 町の取組として、現在2事業あるが現在と今後の取組は。

A 木材製品等流通促進事業については、令和3年度実績では3事業者に約550万円を補助している。今後町内産木材の流通量が多くなり金額も増加したら、要綱の見直しも必要と考える。

森からの贈り物事業については、現在町内産木材を使用していないが、今後少しでも町内産木材を使用した物を購入できるよう検討する。

Q 主事業である森林整備の進捗状況は。

A 今年度より町で預かった経営に適さない森林で、人工林の間伐を実施する予定である。

Q 森林整備に関する業者の選定及び人材育成の取組は。

A 群馬県と相談しながら担い手確保を行っていきたいと思う。

Q システム整備についての方針は。

A 現在行っている意向調査内容を森林台帳管理システムに入力し、情報の効率化を図る。

Q 今後の課題とその解決に向けての方針は。

A 一つには林業の担い手の確保がある。全国の先進地事例を参考にしながら努めていく。二つめには、町内林業関係の低迷があるので、森林環境譲与税を使って、町内林業の活性化を図れるよう考えていく。

町内チップ工場

Q 地方創生臨時交付金の活用は

A 新型コロナ対策や地域経済の活性化に使用している

高橋（たかはし）　弘（ひろし）議員

Q 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金は、地方公共団体がコロナ禍において物価高騰の影響を受けた住民生活や地域経済を支援し地方創生を図ることを目的に創設されたが当町での活用は。

A 役場庁舎や学校など公共施設の感染防止をはじめ、町民の皆さまへ「商品券支給事業」や小規模事業者を対象に「事業継続支援補助金」、農業者に対する給付金や観光事業者の支援事業など合計62事業を実施した。

Q 原油価格・物価高騰対策としての対応は。

A 避難所における感染防止対策に係る経費を始め学校や温泉センター、キャンプ場など観光施設の感染防止対策、中小企業に対する支援事業など行った。また、町民一人あたり1万円の商品券を支給して家計支援に加え地域経済の活性化につなげる事業として計上した。

坂上地区上の原の農地

Q 農業振興対策は

A 関係機関と連携し対応していきたい

Q 第二次総合計画では、効率的な農業経営を促進するため農地集積や土地改良を推進しているが未整備の農地や狭い耕作地が多く効率的な農業経営の障害となっている。本宿上の原地区土地改良の進捗状況は。

A 5月11日の役員会において「上の原地区土地改良事業推進協議会」が発足した。今後の予定は、営農委員会の開催と土地改良を実施する区域を確定した後、令和5年度に採択申請を提出する予定である。

Q 農地として維持管理が難しく耕作放棄地や遊休農地が増加傾向にあり後継者や担い手不足が危惧されるが対策は。

A 農地中間管理機構を利用した農地集積・集約化に取り組んでいる。令和4年度は町内2名の担い手に4.8ｈａの利用集積を行う予定である。今後も関係機関と連携し認定農業者や新規就農者の確保を行い耕作放棄地・遊休農地解消を図っていきたい。

Q 耕種部門でも肥料や生産資材等が高騰し農業経営が圧迫されているが支援策は。

A 大きな支援はできないが町としできる限り支援していきたい。

一般質問

Q 東吾妻町国土強靱化地域計画の取組について

A 強靱化を進めることで、災害が少なくすみ、速やかに回復する利点がある

国土強靱化地域計画とは
大規模な災害からの被害最小化に向けた重点施策を盛り込んだ計画

里見武男（さとみたけお）議員

消防団員確保は

Q 全国的に消防団員の減少が問題になっているが、当町でも私たち町民の安全・安心を守ってくれる消防団員数が減少傾向にあり、条例定数の333名の維持に向けた確保対策をお願いしたい。

A 現在消防団員数は291名で、条例定数に足りていない。各分団幹部等が入団の声掛けを行ったり、出動旅費の増額などの対策をしているが、町の人口が減少している状況から条例定数の見直しも今後必要になると考えている。

私たちの安全を守る消防団員と募集のポスター

個別避難計画の策定を

Q 災害が起きた際に、真っ先に手助けが必要な要介護者、身体障害者や重度知的障害者など、自ら避難することが困難な人や高齢者のみの世帯などの避難への確保を図るため、特に支援を要する災害弱者を誰一人取り残さない「個別避難計画」の策定予定はあるか。

A 現在、個別避難が必要な方のリストアップを行っている。また、要支援者と支援関係者の把握や避難する際、支援を必要とする方の避難場所や支援者を事前に決めておく必要があり、それを周囲の人と共有しなくてはならない。円滑な避難をするための関係者間の協議に多くの時間がかかる。地域福祉計画・地域福祉活動計画における目標として、令和5年度以降に着手、令和8年度に作成完了としたが、出来るだけ早く策定できるよう取り組むつもりだ。

町道1126号線について

Q 金井地区の町道1126号線は道幅が狭く災害時に緊急車両が進入できず、平成15年に拡幅工事の陳情書を提出し、議会で採択されたがさまざまな事情で実現されず、今日に至っている。令和2年に地元役員との協議が再開されて、昨年度に再度の予算化がされ、期待しているが、今後の工事日程については。

A 本年度中には道路の詳細設計を完成させて、来年度に用地測量を実施して地権者との用地交渉へ入っていく予定である。順調ならば令和7年より改良工事に着工したい。

ヤングケアラー支援と今後の課題は

子どもが安心して相談できる場所があることをさらに周知していく

Q 大人が担うような家族の介護や世話をする18歳未満の子どもがいて「ヤングケアラー」として今新たな社会問題となっている。国は2020年から中高2年生・小学6年生を対象に2度の調査を実施した。いわゆるヤングケアラーと言える子どもは、小学生6.5％（約15人に1人）、中学生5.7％（約17人に1人）、高校生4.1％（約24人に1人）との結果だ。当町における現状はどうか。

A ヤングケアラーは「子どもとしての自分の時間」と引き換えに家事や家族の世話をすることが多く、学業や友人関係や健康面などに影響が出てくる可能性が強く指摘されている。町の現状としては、中学生に数件の事例があることは把握している。中学卒業以降の年齢層の実態把握調査は特に行っていない。

ヤングケアラーとは？

例えば、以下のようなケース
- 障害や病気のある家族に代わり、買い物、料理、洗濯などの家事や幼い兄弟の世話をしている。
- 日本語が第一言語でない家族や障害のある家族のために通訳をしている、など。

相談は、気軽に保健センターへ（0279-68-5021）

Q ヤングケアラーと思われる子ども達は、なかなか周囲に相談し話すことができずにいる実態が問題となっている。まさに子ども達の声なき声に耳を傾け、その想いに応える政治が求められている。ヤングケアラー支援として現状どの様なものがあるか。

A スクールカウンセラーや保健師などの努力により、具体的に原因が割り出せれば適切な支援につなぐよう活動している。何より大事なことは、該当者が自身の置かれた状況を認識し、本心からの悩みを自ら話してくれることだ。その声に耳を傾け心に寄り添うことを一番大切な支援と位置付けている。

Q 本年5月22日の上毛新聞の報道では、埼玉県入間市ではヤングケアラーに特化した条例案を6月議会に提案するとも伝えられ、さらに高崎・渋川両市もヤングケアラー支援に動き出している。今後のさまざまなケースを想定した、町の取組や課題は何か。

A 子ども達が安心して相談できる環境が身近にあることを今まで以上に広く周知していきたい。また、地域共生社会の理念のもと、包括的に支援する体制を整備していきたい。

重野能之（しげのよしゆき）議員

一般質問

Q 歴史文化財の滅失、散逸を防ぎ将来へ継承する対策を

A 文化財の調査、把握、保存、活用で文化の香り高い町をつくる

髙橋徳樹議員（たかはしのりき）

Q 過疎化、少子高齢化など背景とする歴史文化財の滅失、散逸のおそれに対し、きめ細かい調査研究や保存および将来へ継承することが急務と思うが。

A 4期目のマニフェスト通り今後も教育環境に力を入れ、文化の香り高い町への取組として、文化財の保存や調査、活用に努めていきたい。

Q 全国的に地域づくり再生で成功した地域は、歴史文化を活かした活動が多い。2年前の質問で当町の埋もれた文化財の掘り起こしや、保存、維持、関心を高めるための施策を聞いたが、その後の成果、進展具合はどうか。

A 本定例会で岩櫃城保存活用計画が決まり、今後具体的調査を踏まえて整備活用事業を進める。未指定文化財把握は、総体的な計画を立てて行う必要があり検討を進めたい。

郷原に残る貴重な養蚕建造物

Q 今般、養蚕分野に詳しい前橋市民から当町で残すべき極めて貴重な歴史的建造物があるとの情報を頂いた。それは郷原地区の元群馬県議会議長菅谷勘三郎氏宅前にある土室式殺蛹乾燥倉庫や玄関の碓氷社組合員証、住宅屋根の卯建など。母屋は朽ちているが歴史的価値があると考えられるので精査、保存を検討されてはどうか。

A 町内にどれだけの歴史的建造物があるのか把握できていない。まずは建造物の全数調査的把握が必要。現在、奈良文化財研究所や東京大学等が「吾妻郡民家調査」を実施しており、そのような調査結果や地域の方からの情報を踏まえて、今後、町の建造物調査が必要か検討していきたい。

土室式殺蛹乾燥倉庫

菅谷氏玄関

卯建（うだつ）

町史編さん委員会立上げを

Q 当町が誕生して20周年となる令和8年度を目途にこれまでの歩みを取りまとめてはとの声がある。町に古い歴史等を知る方も少なくなる中にあってまずは町史編さん委員会を立上げて作業を進めてはどうか。

A 町史編さんを進めることになれば「町史編さん委員会」を組織することになると考えている。

各委員会からの活動報告

総務建設常任委員会

今定例会の委員会では令和４年度補正予算をはじめとして８課の所管事務調査を実施しました。

また、委員会付託された陳情１・２号についても審査を行い活発な議論がなされました。

委員会の中では、植栗バスターミナル構想の進捗状況について、また空家バンク、町内産木材のさらなる活用や町ホームページの多言語化、各駅無料駐車スペースの住民への周知を求める意見が出されました。

町からは、バスターミナルに関する調査委託会社選定が行われたこと、また今後近隣町村とも連携していくことなどの説明がありました。

工事が進む植栗地区

文教厚生常任委員会

５月10日に閉会中の調査として、吾妻東部衛生施設組合関連の４施設を視察しました。

この組合は東吾妻町・中之条町・高山村の三町村が資金をを拠出して運営しています。当町の令和４年度の負担金は２億４６５万円で内訳は表のようになっています。

山田川を挟んで当町に隣接する東部衛生センターには可燃物処理施設・粗大ゴミ処理施設・し尿処理施設があります。煙突からは廃熱と水蒸気が排出されていますが、厳しい環境基準に従っておりダイオキシンの排出はないということです。

吾妻東部衛生施設組合三カ町村負担金　（単位千円）

【令和４年度】	中之条町	東吾妻町	高山村	交付税	合計
し尿処理負担金	30,357	42,918	12,613		85,888
可燃ごみ処理負担金	109,248	97,425	30,102		236,775
粗大ごみ処理負担金	50,419	43,094	13,684		107,197
最終処分場負担金	24,867	21,213	6,593	35,683	88,356
合計	214,891	204,650	62,992	35,683	518,216

粗大ごみ処理施設は機械化が進んでおり、空き瓶の選別作業において、障がいのある方も活躍されていました。

中之条町横尾にある最終処分場は、令和６年中頃には満杯となる予定とのことでした。

いずれの施設も衛生的に管理されており労働環境も整えられていると感じました。

ゴミ焼却の様子を視察

各委員会からの活動報告

行財政改革特別委員会

【行財政改革推進に関すること】 令和３年度の実績評価が新型コロナまん延防止のため、内部評価のみとすること、第２次総合計画後期基本計画では町民１８００名を無作為抽出しアンケート調査を実施すること、庁舎内のデジタル化に向け推進していることなど報告を受けました。

これに対し委員からは基本ソフトの機能を存分に活用すること、人材育成にも注力することなど意見が出されました。

【地域公共交通に関すること】 3月発行した「地域公共交通計画」の説明を受け、委員からはバス料金や環境問題など大胆な発想で見直しが必要ではないかとの意見が出されました。

今後、路線バス、福祉バス、スクールバスなど担当各課で調整しながら、最終的に協議会で方向性を出していくとの回答を得ました。

【町有施設の有効活用に関すること】 「榛名ふれあいの家」「箱島１００番地」はサウンディング調査を実施し、活用法について各所から意見を募るとの報告でした。

議会運営委員会

上信自動車道建設対策調査特別委員会設置について協議し、議会運営委員の全会一致で本会議に発委することにしました。

予算決算特別委員会の設置について協議してきましたが、ひき続き研究していくこととしました。

２年間中止していた議会報告会は、今年度は開催する方向で検討中です。

高校生・中学生議会は学校の意向を聞いて開催を考えていきます。

タブレット端末の運用を協議し、運用規定案を議員全員協議会で検討し、議会訓令として運用していくこととしました。

わたしも一言！

イラストで町おこしのお手伝いを！

祐さん（ペンネーム）

町内に住む漫画家です。自分の得意な分野で町おこしに協力したいと、昨年度よりおらがまちづくりプロジェクト実行委員になりました。現在、マイロックタウン東吾妻のホームページに掲載の小説のイラストを担当しています。

実行委員として様々な業種の方と意見を出し合い、何かを実行することは、楽しいことでもあり、難しいことでもあると実感しています。

町の方向性を決める議会も、同様のご苦労があるかと思います。私たち町民の代表として、議会でどのような議論がされているのか興味があります。最近の議会だよりは写真やイラストが多く、若い世代でも読みやすくなりました。今後も町議会の活発な議論に注目します。

イラストを担当した東吾妻町を舞台にしたWeb小説は、こちらのQRコードでご覧になれます。
↓

東吾妻町議会だより　みんなの議会
No.66 / 2022.8.1
発行／東吾妻町議会　編集／議会広報特別委員会
〒377-0892　群馬県吾妻郡東吾妻町大字原町 1046
TEL 0279-68-2111　FAX 0279-68-5300
E-mail：gikai@town.higashiagatsuma.gunma.jp

まちの声

「若者が夢を語れる町に」

池田　駿介　さん（36 歳 / 箱島）

養魚場での池田さん

東吾妻町と言えば「これ！」という特産物や、観光誘致につながるものがこの町には少ないと思います。私は魚の養殖をしていますが、微力ながら「ギンヒカリ」や「シルクサーモン」などのブランド化で、町の力になりたいと頑張っています。

そんな私には夢があります。それは、町を元気にするために頑張りたいと思う若者が集まって、それぞれのやりたいことを話し合える場所を作ることです。

例えば、昼間は子どもが遊べるスペースがあって、お母さんたちが軽食を食べたり、お茶を飲んだりしながら一息つけるハンバーガーショップのような場所。夜はお酒を飲みながら、町の未来を語れるバーのような場所。評論家のように言いたいことを言う人も、何かをやりたいけれど具体的にどうしていいかわからない人も、みんなで集まって話をすることで、「じゃあこうすればいいんじゃない？」と見えてくるものもあると思います。

みんなを巻き込んで、町づくりにベクトルが向かうきっかけになればと思っています。

ＩＴ化の進む現在は、経済の変化もグローバルな動きも大きく早くなっています。もちろん、経験豊かな人生の先輩方の意見も貴重だとは思いますが、若い人の意見も町政に取り入れてもらい、若者が夢を語れる町、ずっと住み続けたいと思う町になって欲しいと思います。

東吾妻町の子育て政策は、他の自治体と比べても充実していると感じます。私も、妻の妊娠中からさまざまな手当てや補助金をもらいました。この点をもっとアピールして、移住政策につなげていったらいいのではないでしょうか。

町には、２０４０年に人口１万人を維持という目標がありますが、ネガティブな目標は逆効果だと思います。人口増を目指すような、他自治体にはない積極的で「とがった」政策や議論を、町と議会にも期待します。

議会を傍聴してみませんか！

議会の会議は、特別な場合を除き公開されています。傍聴希望の方は、役場３階の議会事務局までお越しください。

コロナ対策のため、マスクの着用をお願いします。

次回の定例会は９月６日開会予定

9月定例会予定表

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6 本会議	7 本会議	8 常委	9 常委	10
11	12 特委	13 特委 全協	14 休会	15 本会議	16 本会議	17

※予定ですので、詳しくはお問い合わせください。
常委：常任委員会、特委：特別委員会、全協：議員全員協議会

編集後記

沖縄県山原地域を舞台にした朝の連続ドラマ「ちむ（肝）どんどん」を懐かしく見ております。といいますのもサラリーマン時代５年弱、転勤経験があり、料理や民謡には様々な方言が散りばめられており、何か心が揺すぶられた思い出があるからです。

果たして議会の役割はなんでしょう。住民の方の声を真摯に的確に受け止め、皆さんがちむどんどん、日々ドキドキ、ワクワクするような前向きで元気な生活を実現していただくことではないかと思います。

今年は例年になく早い梅雨明けとなり猛暑到来、熱中症にはご注意ください。

（髙橋　徳樹）

議会広報特別委員会

委員長　樹下　啓示
副委員長　井上日出来
委員　渡　一美
委員　高橋　弘
委員　茂木　健司
委員　髙橋　徳樹
委員　青柳はるみ